

第1章 伊賀市夢のある農業振興計画の策定について

1. 計画策定の目的

伊賀市（以下、「本市」という。）は四方を山で囲まれた昼夜の寒暖差が大きい盆地特有の内陸気候であることに加え、古琵琶湖層を形成する地域であったため、栄養分が豊かな土壌に恵まれています。また、淀川の源流域となる清水にも恵まれ、美味しい農産物が生産できる条件が整っています。これらの条件を活かし、従来から伊賀米コシヒカリや伊賀牛をはじめ、アスパラガス、白鳳梨、伊賀の芭蕉ねぎといった「IGAMONO」の認定品となっている多様な産物が地域ブランドとして高く評価されており、高付加価値化が図られています。また、早くから有機農業が盛んな地域であり、これまでの慣行農業を尊重しつつ、さらに有機農業を発展させる仕組みづくりと持続可能な農業の実現のため、令和6年7月27日に名張市と共同で『オーガニックビレッジ宣言』を行いました。

一方、農業者の高齢化や後継者不足によりいわゆる「担い手」が年々減少し、20年前の農業者数と比較すると、約40%減少しています。また、農業者の平均年齢も70歳以上が約67%を占めており、耕作放棄地及び鳥獣被害の増加や、集落機能の低下による農業生産活動への影響が懸念されています。さらに近年の農業資材や農業機械の価格高騰、異常気象や災害などに伴う農業被害等、課題が山積しています。

令和6年6月に食料・農業・農村基本法が改正され、「食料の安定供給の確保」、「農業の有する多面的機能の発揮」や「農村の振興」等といった農政の基本理念が示されました。昨今では、世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや、地球環境問題への対応、海外の市場の拡大等農業を取り巻く情勢が大きく変化しています。

このような状況の中、これまで取り組んできた農業を尊重・継続しつつ、より高付加価値化やブランド力の向上といった「攻め」の農業が必要です。そのためにも、情報発信や販路開拓の取組み、また新規就農者を育成するための人材育成についても取り組む必要があります。

「持続可能な魅力ある農業」の実現をめざし、「伊賀市夢のある農業振興計画」（以下「本計画」という。）を策定します。

出典：

伊賀市夢のある農業振興計画策定方針_P1

「1 農業振興計画策定の趣旨」

2. 計画の位置付け

本計画は、国や三重県が策定した農業分野の計画等と整合を図りつつ、「第3次伊賀市総合計画」における基本施策4-1「農業・林業（人と自然が共生し、農林業を元気にする）」の基本事業「農業」及び「農村整備」や、「伊賀市産業振興条例」における基本理念や基本方針の個別計画として、これら上位計画の農業施策の内容を補完するとともに、既に策定されている「伊賀市農業振興地域整備計画」など本市の農業分野に関する各種計画を包括し、これらの今後の指針を示すものです。

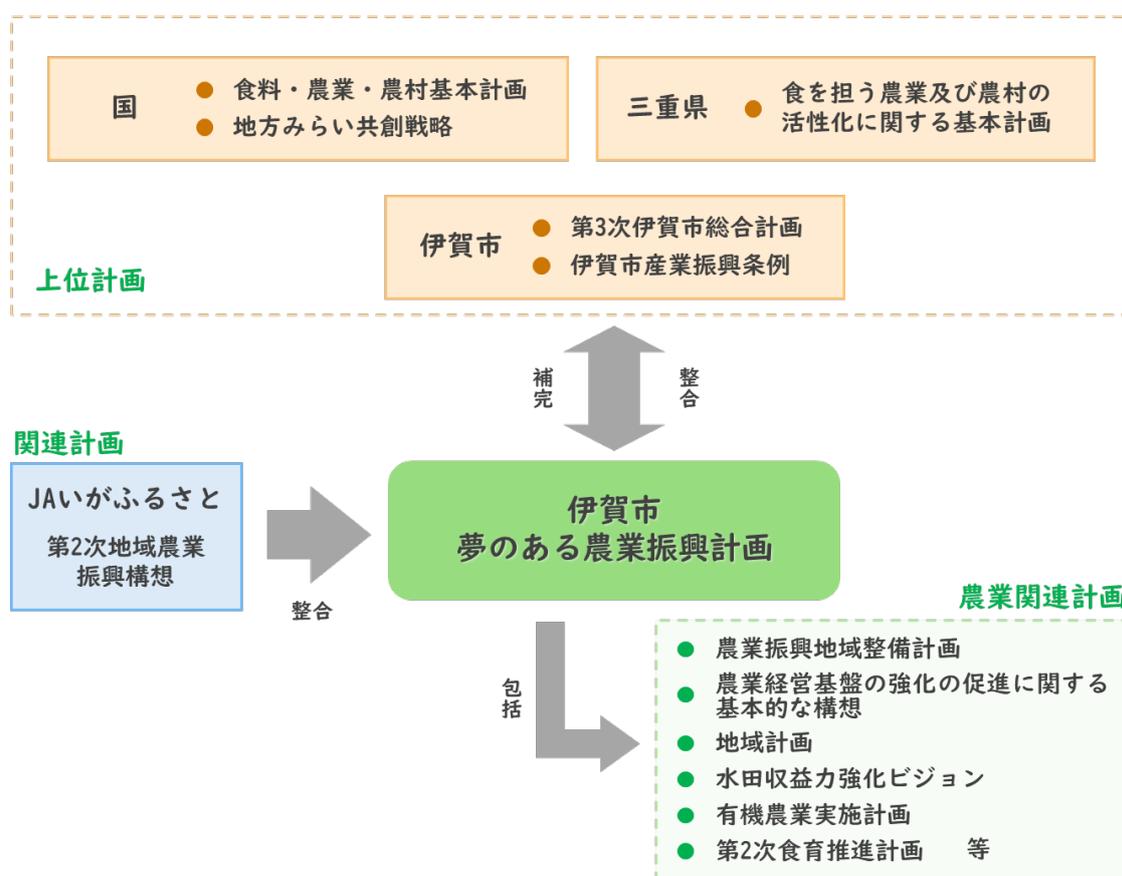


図1 伊賀市夢のある農業振興計画の位置付け

3. 計画の期間

本計画の計画期間は、令和9年度を初年度とし、令和18年を目標年とする10年間とします。なお、計画の進捗状況や農業・農村を取り巻く社会・経済情勢の変化などに柔軟に対応するために、概ね5年を目途に計画を見直します。

第3章 伊賀市農業・農村の将来像

3. 施策体系(案)

基本方針(案)	基本施策(案)	具体的施策(案)	備考※
担い手の確保・育成	新規就農者の確保	農業アカデミーの可能性検討	③
	次世代の担い手確保	農業体験の成功事例の紹介	③
		市内若者世代に向けた農業教育	④
	多様な担い手の確保	女性、高齢者、小規模農家、兼業農家、集落営農などが農業を継続できる環境への支援	①、② ④、⑤
農福連携		①	
農業生産基盤の保全	農村資源保全のための共同活動への支援	水路・農道など共用設備の維持管理・補修活動への支援	①、③
		上記活動に係る事務作業の簡素化の検討	③
	ため池の保全	長寿命化のための改修工事	③
		農業用水の利用がなくなったため池の廃池	
農業生産の振興	特産品の生産振興	伊賀米、伊賀牛などの生産振興	①、② ⑤
	有機農業の振興	堆肥の活用など地域内資源循環の推進	①
	中山間地域の農業振興	中山間地域での営農継続支援	①
	家庭菜園の推進	優良種苗の流通等への支援	⑤
加工・流通・販売開拓	販路拡大・ブランド力向上	関係機関と協力した伊賀産農産物のPRの推進	③
		有機農産物の市内流通や消費システムの確立	②、③
食と農の関わりの推進	地産地消の推進	「いがスマイル給食」を通じた食育	③
農村環境の保全	鳥獣被害対策	獣害柵の補修支援	③
		狩猟免許の取得支援	③
	多面的機能の維持・発揮(農地の保全)	荒廃農地・遊休農地の発生防止・解消	②、④
	農村生活環境の維持	道路など生活基盤の維持	①、④
		農家家屋の修繕補助	①
		空き家・空き店舗の活用	④
	農村への関心の促進	農泊の成功事例の紹介	③
地域コミュニティの維持・拡大	農業者同士・生産者と消費者のつながりの拡大(農業サロン)	④	
	農村型地域運営組織の推進	④	

※①：第1回、第2回計画策定委員会より、②：伊賀市夢のある農業振興計画策定方針より、
③：第3次伊賀市総合計画より、④：弊社企画提案書より、⑤：現状調査・分析等より